

令和5年度 再評価調書

事業名	耕地地すべり防止事業	地区・路線名	木頭2期地区									
事業主体	徳島県	関係市町村	那賀町									
事業概要	<p>(事業目的) 本地区は、那賀川本流兩岸の河岸段丘及び急斜面に位置し、木頭北川、南宇、西宇、和無田、助の地すべり防止区域により構成され、特産である、柚、すだちなどの栽培が行われている中山間農業地帯である。 本地区の地質は、四万十帯の砂岩・頁岩で構成されており、破碎された地層上に地区が形成されている。この地層に豪雨等で地水が流入することで、せん断抵抗力が低下し、地すべりが発生しやすい状況となる。 このため、当地区で地すべり対策事業を実施し、農地、農業用施設並びに人家や公共施設等の被害を除却、または軽減し、農業生産基盤及び生活基盤の維持・保全を図るものである。</p>											
	<p>(事業内容)</p> <table border="0"> <tr> <td>受益面積</td> <td>182.9ha</td> </tr> <tr> <td>受益戸数</td> <td>44戸</td> </tr> <tr> <td>主要工事</td> <td>排水路工 455m、承水路工 900m 排水ボーリング工 2,560m、土留工 1箇所 アンカー工 1箇所</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>361,000千円(国50%、県50%)</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>平成26年度～令和7年度</td> </tr> </table>			受益面積	182.9ha	受益戸数	44戸	主要工事	排水路工 455m、承水路工 900m 排水ボーリング工 2,560m、土留工 1箇所 アンカー工 1箇所	総事業費	361,000千円(国50%、県50%)	工期
受益面積	182.9ha											
受益戸数	44戸											
主要工事	排水路工 455m、承水路工 900m 排水ボーリング工 2,560m、土留工 1箇所 アンカー工 1箇所											
総事業費	361,000千円(国50%、県50%)											
工期	平成26年度～令和7年度											
評価項目	<p>(事業の進捗状況) 令和4年度までに全18ブロック中、4ブロック中を実施している。 令和5年度末の事業費進捗率は68.9%となる。</p>											
	<p>(関連事業の進捗状況) 該当なし。</p>											
	<p>(社会経済情勢の変化) 計画時点と比較し、基本的に農地面積、営農状況等の変化がないが、近年の豪雨等により土砂災害などに対する地域の防災意識も高まっており、生産基盤・生活基盤の保全への要望は強まっている。</p>											
	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無) 特になし。</p>											
	<p>(費用対効果の分析) 地すべり活動が顕著である南宇工区では、これまで実施した対策工による地下水位の低下が確認されており、引き続き、残計画の抑制工及び抑止工対策を進め、事業効果の早期発現を目指す。他工区についても事業推進により被害防止を図る。</p> <p>被害防止効果＝予想被害額／総事業費＝1.83</p>											
<p>(受益農家、関係機関の意向) 那賀町及び地すべりブロック内の関係者は、事業の早期完成を強く要望している。</p>												
<p>(事業の実施方針) 継続して事業を実施する。</p>												